

テレマティクス自動車保険の販売が好調 ～交通事故の未然防止効果を確認～

2018年10月3日

MS&ADインシュアランスグループのあいおいニッセイ同和損害保険株式会社（社長：金杉 恭三）は、個人・法人のお客さまへ提供しているテレマティクス^{※1}自動車保険の契約台数が好調であること、および、これらの商品による交通事故の未然防止効果を確認しましたのでお知らせします。

個人向けテレマティクス自動車保険		自動車保険フリート契約者向け テレマティクスサービス
 つながるクルマの保険	 見守るクルマの保険	 ささえる NAVI
2018年1月販売開始	2017年10月販売開始	2016年4月提供開始
3,000台を突破	30,000台を突破	10,000台を突破（ささえる NAVI Lite）

当社は、引き続きテレマティクス自動車保険の販売を通じて、個人・法人を問わず、自動車の運転者とその家族・企業等に安全・安心をお届けすることで「安全・安心なクルマ社会」の実現に貢献してまいります。

※1「テレコミュニケーション」と「インフォマティクス」を組み合わせた造語で、カーナビやGPS等の車載機と移動体通信システムを利用して、様々な情報やサービスを提供する仕組み

1. タフ・つながるクルマの保険の販売状況と事故頻度

コネクティッドカーを対象とする本商品は、幅広いお客さまからの支持を得て、販売開始後の契約台数が累計で3,000台を突破しました。また、当社の「タフ・クルマの保険」にご加入いただいているお客さまと比較して、事故頻度が30%以上抑えられており、交通事故の未然防止効果も確認しています^{※2}。

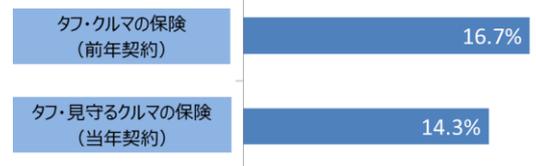
※2 事故頻度の比較



2. タフ・見守るクルマの保険の販売状況と事故頻度

非コネクティッドカーを対象とする本商品は、販売開始後の契約台数が累計で30,000台を突破しました。また、前年に当社の「タフ・クルマの保険」にご加入いただいていたお客さまの事故頻度が、約15%程度抑えられている効果も確認しています^{※3}。

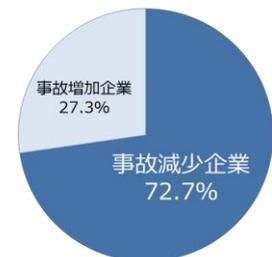
※3 事故頻度の比較



3. 「ささえる NAVI」の事故低減効果と導入台数推移

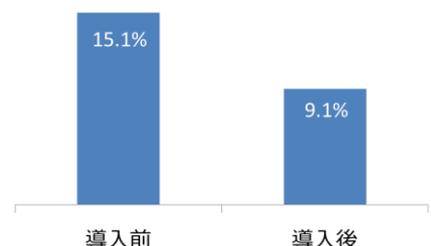
企業向けの自動車事故低減の取り組みとして、2016年4月にサービス提供を開始した「ささえる NAVI」は、その導入企業において、対前年同期比で約7割の企業で事故が減少し、導入企業全体の事故件数では約4割削減されるなど、本サービスによる高い効果を確認しています。

<事故が減少した企業の割合>



2018年4月には、「低廉な料金で事故削減を実現したい」という企業ニーズに応える「ささえる NAVI Lite」をラインアップに加え、当社は、あらゆる業種・業態のお客さまに対応する業界随一のサービス体制を実現しました。この「Lite」は、販売開始後6か月で導入台数が10,000台（申込予約含む）を突破するなど、上記の企業ニーズを背景に、導入が急速に進展しております。

<事故頻度の比較>



当社は、今後においても、先進のテレマティクス技術を活用した事故低減支援サービスの深化を通じて、企業の自動車事故の低減に貢献してまいります。

当社は、社会との共通価値を創造し、目指す社会像である「レジリエントでサステナブルな社会」を実現するため、SDGs（持続可能な開発目標）を道しるべとし、地域の皆さまに貢献する活動を行ってまいります。



主に貢献しているSDGs目標

